

SUV用

おすすめ車種 ▶ LEG OB LEV LAY CRO XV FOR

氷雪路からウェット・ドライ路面まで、
安定感のある操縦性をもたらすSUV/CCV専用スタッドレス！

OBSERVE GSi-6

オブザーブ・ジーエスアイ シックス

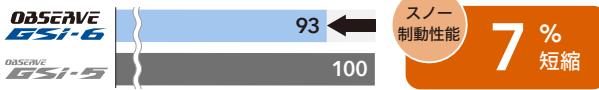
おすすめ
ポイント

- 新設計のパターンデザインとコンパウンドが安定感ある走りを実現。
- 冬の路面に必要なウェット性能を向上させ、スノー制動もアップ。

**新設計のパターンデザインが生み出す
グリップ力と操縦安定性！**

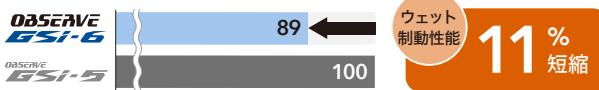
**シリカを増量したコンパウンドが
アイス・ウェット性能を両立！**

**高剛性ボディ構造がもたらす
すぐれた走行安定性！**



<試験条件> ■ 試験場所: TOYO TIRE(株)冬期タイヤテストコース ■ ダイヤサイズ: 265/60R18 ■ 車両: トヨタハイラックス(排気量: 2800cc, ABS付) ■ 駆動方式: 4WD ■ 荷重: 2名乗車相当 ■ ダイヤ空気圧(前/後): 230kPa/230kPa ■ 外気温度: -9.7°C~12.9°C ■ 路面温度: -10.0°C~13.4°C ■ 路面の種類: 庄雪路面 ■ 試験方法: 速度40km/hの直進走行からフルブレーキング(ABS付)し、停止するまでの制動距離を計測。試験回数5回以上の平均値。

※詳細データはタイヤ公正取引協議会に届け出ています。※本テストの結果は同様な条件下であっても、必ずしも同じ結果が得られるとは限りません。



<試験条件> ■ 試験場所: TOYO TIRE(株)タイヤテストコース ■ ダイヤサイズ: 265/60R18 ■ 車両: トヨタハイラックス(排気量: 2800cc, ABS付) ■ 駆動方式: 4WD ■ 荷重: 2名乗車相当 ■ ダイヤ空気圧(前/後): 220kPa/220kPa ■ 外気温度: 17.4°C~17.9°C ■ 路面温度: 21.7°C~21.8°C ■ 路面の種類: ウェットアスファルト路 ■ 初速度: 100km/h ■ 水深: 約1mm ■ 試験方法: 速度100km/hの直進走行からフルブレーキング(ABS付)し、停止するまでの制動距離を計測。

※詳細データはタイヤ公正取引協議会に届け出ています。※本テストの結果は同様な条件下であっても、必ずしも同じ結果が得られるとは限りません。



1 ジグザグ4本主溝(スノー・ウェット性能に寄与)

主溝のジグザグ化により、
スノートラクション性能と排水性能を両立。

2 セレーテッドスタビリティリブ(操縦安定性に寄与)

センターに設置されたジグザグリブが、
スノートラクション性能と操縦安定性に寄与。

3 スwingサイフ(アイス性能に寄与)

サイフの閉じ込みを抑制し、効果的に除水・エッジ効果を発揮。

4 スパイラルエッジサイフ(アイス・スノーでのグリップ力)

らせん状のサイフが全方向にエッジ効果をもたらし、
発進・制動・コーナリング時にグリップ力を発揮。

5 3Dグリップサイフ(アイス性能とドライ・ウェット性能両立)

サイフ内面の凹凸が発進・制動・コーナリング時に支え合い、
サイフエッジによりグリップ力を発揮。全プロックで採用。

6 ショルダーライトニングエッジ(コーナリング性能に寄与)

コーナリング時にエッジ効果を発揮。

7 シャープアングルエッジ(アイス・スノーでのグリップ力)

氷雪路面でのエッジ効果を発揮。

8 連通スリット(排水・排雪性能に寄与)

タイヤ外側にかけて幅広溝を採用。
排水・排雪性能に寄与し、
スノー・シャーベット路での安定した走りを実現。

9 ファーストエッジ加工(グリップ力)

新品時のエッジ効果を確保。

おすすめ車種
記号の説明

SOL	ソルテラ	LEG TW	レガント ツーリングワゴン	LEG B4	レガシィB4	LEG OB	レガシィ アウトバック	LEV	レヴォーグ	LEV LAY	レヴォーグ レイバック	IMP	インプレッサ	CRO	クロストレック	XV	SUBARU XV	WRX	STI/S4	FOR	フォレスター	EXI	エクシーガ クロスオーバー
BRZ	SUBARU BRZ	REX	レックス	JUS	ジャステイ	TRE	トレジャー	DEX	デックス	CHI	シフォン	STE	ステラ	LUC	ルクラ	PLE	プレオ	R1/R2	R1/R2	DIAS	ディアスワゴン		

記号の説明

低車外音タイヤ